

2023年9月11日

市川市長 田中 甲様

日本共産党市川市議団

要 望 書

今、9月議会の補正予選に出された、農林水産業費の振興費海域環境調査委託料24,000,000円いわゆる、塩浜2丁目護岸前面海域における覆砂作業に必要なモニタリング調査などを行う費用です。県が断念したことからも、三番瀬の環境や費用面でも本来賛成できるものではありません。

日本共産党は、代表質問で取り上げ、質問しました。

「モニタリング調査をして、自然環境への影響などが出るなど、結果が思わしくなければ事業を中止することも考えられます。思わしくなくても事業を継続するのか」、伺いました。

答弁は、「モニタリング調査につきましては、これまで、市の市川漁港整備工事や、千葉県の護岸整備工事の際にも、同様な調査を行っており、その結果、特段の影響はございませんでした。また、今回の覆砂で使用する砂は、三番瀬内の海域における浚渫土を使用することから、環境には十分配慮して進めてまいります。なお、モニタリング調査は、事業完了後まで継続して行うことから、環境の変化を十分注視し、結果を慎重に判断していきたいと考えております。」というものでした。

三番瀬は、言うまでもなく多様な自然環境が残され、多くの生物が生息しています。これを損なうことなく保全していく必要があるとともに、自然環境の再生に取り組み次世代に引き継いで行く必要があります。以上のことから、人工干潟などで千葉県三番瀬再生計画の原則である「海域をこれ以上狭めない」ことと、今回のモニタリング調査をしていく上で、定期的に調査の過程、結果を文書でご報告くださるよう要望します。